

# 2024年度 台湾研修 報告書

医療科学部 放射線技術学科 2回生 氏名 井ノ口 愛子

## 台湾研修概要

日程：8月25日～8月31日

訪問先：元培医事技術大学、國泰医院、映像医学博物館、台安病院、中正紀念堂、ラオハ夜市、九份、台北101等

研修内容：大学内で中国語の勉強、病院内の見学や独自の取り組みについての説明、日本との相違点を探しレポートにまとめる 等

## 本研修に参加した目的と目標

台湾研修に参加した理由は、日本と交流の多い台湾での医療はどのようになっているのか関心があったからです。他にも私自身元々中華圏には子どもの頃から関わりがあったため、参加を決めました。

目標は台湾と日本の医療の違いを自分の目で確かめて、より良い医療形態を作るにはどうすればよいのか自分なりに考え、答えを出すことです。

## 学内研修で学んだこと

人とコミュニケーションをとる時、どの言語で話すのかも大切だと思いますがそれ以上に相手に伝えようと思う気持ちが大切だと身に染みて感じました。台湾のボランティアさんたちは英語や翻訳機を使ったりジェスチャーを利用してわかりやすく私たちに伝えてくれました。最初のうちは伝わる自信がないからと自分から話しかけることを躊躇していましたが、頑張って交流しようとしてくれる台湾学生を見て、自分も勇気を出して話しかけることができました。おかげで最終的には私が考えていた以上に仲良くなることができました。

さらに、話すだけでなく一緒に何かをするということも相手との距離を縮める方法のひとつだと知りました。私たちは1日の予定が終わった後、学校内のスポーツができるコートでバドミントンや卓球をしました。他の学外研修では交流の少なかった男子台湾学生とはこのスポーツをする時間で仲を深めることができました。これらの経験から、人とコミュニケーションをとる際は自分から積極的にいこうと思えるようになったり、話す以外の方法でも相手との距離を縮められると知ったので、相手に合った交流方法を選べるようにしたいです。

## 学外研修で学んだこと

自分は常に人に見られているという意識を持ちながら行動しました。それによって自分の行動への意識が一步大人に近づいたのではないかと思います。

そして病院ごとに特色があり、その違いを見るのも面白かったです。台湾の病院ではスマホと保険カードがあれば来院報告からお会計まで出来てしまうという便利さに驚きました。

これらの事から、日本でもスマホでの決済などがかなり増えてきているため、会計や受け付けを可能な限りスマ

ホで行えるようにすれば患者さんの回転率が早くなり、長い待ち時間を少しでも短縮出来るようになるのではと考えました。

### 観光&交流

台湾の様々な観光地を回りました。特に夜市では現地の雰囲気も感じながら台湾のグルメを堪能することができました。特に私達はさつまいもで作られた球体の揚げ物である「地瓜球」をととても気に入りました。他にも「千と千尋の神隠し」の舞台となった九份では昼間でありながらも迫力を感じる建物でした。歴史的な建物も日本の建物とはまた違った雰囲気を感じられました。

台湾の学生だけでなく、観光地のお土産屋さんの店員さんとも交流しました。授業で学んだ中国語を単語だけだとしてもがんばって使いながら自分の思いを伝えることが出来ました。

### まとめ

最初はとても不安で食事は合うのか、現地の学生と仲良くできるのか等様々な不安点がありましたが、台湾に着いてからはそんな不安を感じる暇もないくらい全てが新しく、楽しく、気付けば期間である1週間が過ぎてしまいました。台湾の文化、医療等について学べただけでなく、人の優しさを感じることもできました。本当に今回の研修に参加してよかったと感じます。

### 謝辞

先日は、台湾研修にて、引率の先生方や島津製作所さんの皆様、ご多忙の中ご指導や沢山の補助をしていただき、誠にありがとうございます。

台湾研修を通じて、台湾の文化や医療について深く学ぶことができ、大変勉強になりました。研修で得た成果をこれからの大学生活に活かしていきたいと思っております。また、このような機会がある際には、ぜひ参加させていただきたいと考えています。改めて、お忙しい中、私達に充実した台湾研修をご提供いただき、誠にありがとうございました。



【学内での交流】 【学外研修の國泰醫院】

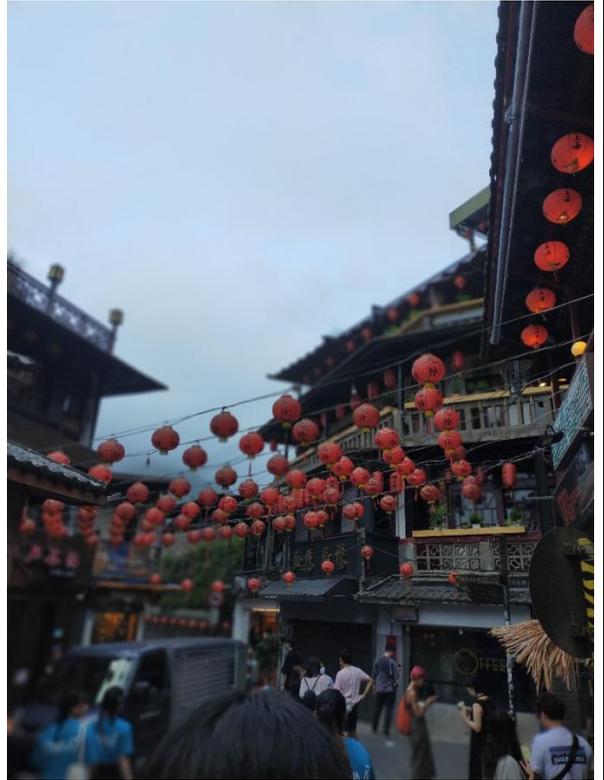


【台湾でも島津さんの製品発見】

【夜市観光で食べた地瓜球】



【観光の台北 101 にて】



【観光の九份にて】